

社会

**社会における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて**

<b>ア 知識及び技能</b>	<b>イ 思考力、判断力、表現力等</b>
・資料の読み取り方、読み取る力	・複数の資料を関連付けたり、比較したりして考える力 ・生活と結び付けて考えたことを、説明したり、話し合ったりする力

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	ア資料を読み取ったり、資料を基に考えたりしていく学習を積み重ねている段階である。 イ学んだことを比較したり、結び付けたりして、相互の関連を考える学習経験が浅い。	ア資料の見方・読み取り方・比べ方等を丁寧に指導する。 イ各単元の学習において、相互の関連を考える視点を与えながら表にまとめたり、考えを整理したりする学習活動を積み重ねていく。	ア通年  イ通年	
第4学年	ア教科書から大事な情報を読み取り、課題を解決していくことを指導している段階である。 イ学習したことを自分たちの生活と結び付けて考えることに課題がある。	ア資料の読み取り方を指導し、課題解決のために必要な情報を自分で見つけられるようにする。 イ複数の資料を関連付けて考える力を身に付けさせ、各単元で、自分たちの生活との関わりを考えさせる。	ア通年  イ通年	
第5学年	ア必要な情報を資料から読み取る力に課題がある。  イ複数の資料を関連・比較して考えたり、生活と結び付けて考えたりすることに課題がある。	ア資料の読み取り方を繰り返し指導することで、読み取るポイントを自分で見つけられる力を身に付けさせる。 イ読み取った資料を基に課題を把握し、それに対する自分の考えをもったり、友達と伝え合ったりする活動を意識的に取り入れる。	ア通年  イ通年	
第6学年	ア資料のもつ意味を考えることに課題がある。 イ必要な情報を比較したり、関連付けたりし、自分の言葉でまとめる力に課題がある。	ア資料が与える効果を意識させて読み取らせる。 イ複数の資料から、根拠をもって自分の考えを説明する活動を繰り返す。	ア通年  イ通年	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">3年</p> <p>児童の興味・関心に応じてタブレット端末を活用し、調べ学習をしたり、考えを見合ったり比べ合ったりする。【重点:個別】</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">3年</p> <p>身の回りの生活を基にして学習問題をつくり、体験活動を通して学んだことを自らの生活の中で意識できるようにする。</p>

4年

課題に対する資料を提示し、ICT を活用して個人で課題解決をさせる。また、それを共有することで、考えを広げ、社会的見方、考え方を深める。【重点：個別】

5年

様々な資料を提示したり選択したりすることができるようにする。ICT を活用して、自分の考えをまとめさせる。また、考えを共有し、様々な見方・考え方を習得できるようにする。【重点：個別】

6年

学習課題に対して、どのように学習を進めるかを自分たちで選択させる。【重点：個別】

4年

各単元で、課題を自分たちで設定し、何を調べて解決するかなど、学習計画を立てて、学習の見通しをもたせる。また、まとめをすることで学習を振り返り、課題解決意識を高めていく。

5年

目的意識をもって学べるように学習計画を立て、まとめ毎に学習を振り返ることで、学びを実感できるようにする。

6年

学習課題を自分たちで考えさせ、自分が考えたことや、選択・判断したことを根拠や理由などを明確にして、論理的に説明したり、他者の主張につなげ立場や根拠を明確にして議論したりする。